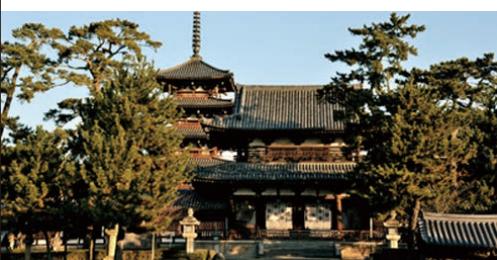


斑鳩町

聖徳太子のおもかげに会う 斑鳩
～1400年つづく和の心～



法隆寺

聖徳太子ゆかりのお寺。有名な五重塔を含む西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築です！



竜田揚げ

醤油等に漬け込み、片栗粉をまぶして揚げたものを「竜田揚げ」と呼びますが、この名は「竜田川」が由来なんです！



柿ソフト

柿ペーストが入った和テイストのソフトクリーム。法隆寺門前のお土産店街で食べられます。



安堵町

小さくてもキラリ光る
交流のまち

切り灯芯



灯芯・たんころ・和ろうそく

灯芯は藺草の皮を除いた“髓”の部分で、油を染みこませて火を灯すには最適な素材です。ひと昔前の生活には、なじみの深い日用品だったのです。



極楽寺(広島大仏)

聖徳太子の創建と伝えられる寺。本尊阿彌陀如来像(重要文化財)、終戦直後に広島市で原爆犠牲者を弔った広島大仏(阿彌陀如来座像)などが安置されています。



歴史民俗資料館

奈良県再設置の功労者である今村謹三の生家跡に安堵町に関する資料が展示されています。伝統産業である灯芯づくりも紹介されています。



川西町

室町時代、空から
能面とネギが降ってきた！



結崎ネブカ

戦前まで大和野菜の雄として栄えた甘くておいしい幻のねぎ。近年、懐かしいふるさとの味が再評価され、伝統野菜として市場に復活することになりました。



面塚

能楽「観世流」発祥の里。奈良盆地に広がる田畑の中を流れる寺川のほとりに「面塚」の石碑と、「観世発祥之地」と刻まれた石碑が建つ公園があります。



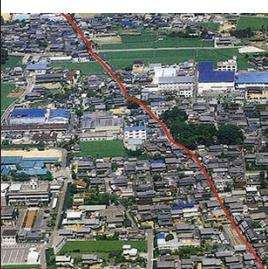
貝ボタン

海のない町のとっても意外な特産品。全国トップシェアを誇る地場産業。



三宅町

慈愛の風薫り、未来に光射す
きらめきのまち



太子道

およそ1400年前、飛鳥時代に聖徳太子が斑鳩宮から三宅の原を経て飛鳥の小墾田宮へ、お供の調子磨を従え、愛馬黒駒に乗って通われたという伝承があり、その道を「太子道」と呼んでいます。

聖徳太子がこの地で休息された時に腰を掛けられたと伝わる「腰掛石」



あざさの花

万葉集に三宅の原の花として詠まれている歴史的な背景から、2009年10月に町花に制定しました。



野球グローブ

三宅町は昔から全国的に有名なスポーツ用品の一大産地で、特にグローブや野球用スパイクは全国でも有数の出荷量を誇っています。

